

複写連HP URL
fukusyaren.or.jp/
 401k HP URL
fukusya401k.jp

複写連だより

日本複写産業協同組合連合会
 〒105-0011東京都芝公園1-7-8
 ITビル4階 電話03(5402)6167
 FAX03(5402)1088
 e-mail: info@fukusyaren.or.jp
 URL <http://www.fukusyaren.or.jp/>
 発行責任者 森下修至

複写連 パートナースのお誘いについて

日本複写産業協同組合連合会では本年7月から、全国電話帳や旧複写連会員名簿、帝国データバンク等の資料を基に、複写関連業務に従事する会社様の名簿作製を改めて行ってきました。この作業の結果、現在概

ね名簿が完成し、約1,500社の存在が確認されました。連合会ではこの

名簿作製と並行し、全国の関連業者様に複写連パートナーズ会員としての参加を呼び掛ける書類をお送りしているところ です。

現在、北海道を除く各地の業者様にお送りしたところ です。既に3社の新規のお仲間に参加表明して戴き、早速理事会において入会承認を行いましたので、御紹介申し上げます。

東京地区では(株)ヤエス様(代表取締役会長後藤眞氏)

【会社概要】

商号：株式会社 ヤエス、
 創業：1907年(明治40年)
 設立：1988年(昭和63年)
 資本金：1,000万円
 事業内容：プリントオンデマンド事業、オフィスビル賃貸事業
 所在地：新宿区市谷田町2-17 八重洲市谷ビル
 TEL：03-3260-8951

鹿児島県からは(有)美光社(ピコウシャ代表取締役石

室屋光昭氏)(注記:この記事の内容は同社の了承を得てホームページから転載しております。)

ご挨拶

有限会社美光社との取引を頂きありがとうございます。当社は33年前(1981

厳しい状況だと話を伺い何とか手助け出来ればと思ひ復帰する事にしました。営業車も無く自分の車を持ち込んで営業にあたり、厚生年金や社会保険も無い状態で給料も総支給額15万でひたすら頑張りました。

その後1年位たったある日、塚田氏から当時商売敵であった株式会社 不二青写真の資本を受け入れよう

システムの販売施工など頑張っております。

今後とも、有限会社 美光社を宜しく願ひいたします。

【会社概要】

商号：有限会社美光社
 設立：平成4年6月(美光社設立)平成9年6月(有限会社美光社へ法人変更)
 資本金：300万円
 本社：〒890-0005 鹿児島

日本複写産業協同組合連合会 第26回 東海大会 開催！！ 全国の同業の皆様 是非ご参加下さい

市下伊敷2
 丁目7番1
 2号
 TEL 099-2
 18-3400
 FAX 099-2
 18-3399
 福岡オフィ

年)に鹿児島市鷹師町にあった株式会社ミラクルに私



代表取締役石室屋光昭様

がサラリーマンとして入社しコピーサービスの営業で活動しておりましたが、2年後親会社の株式会社大野商事(当時上荒田にあった)の影響で倒産に至り退社しました。その後、食料品の卸屋で3年半頑張っていたが当時上司のいやがらせにあいこの会社も辞める事になりました。

新しい仕事を捜している中、以前働いていた会社の営業部長だった塚田氏が鹿児島照国町で債務を引き継ぎ有限会社 南日本コピーセンターとして業務を営業再開しておりました。就職活動中、私は塚田氏の所へ遊びに行き現状はまだまだ

と考えていると社員の待遇面を考えての事でした。

その後、有限会社 西日本コピーに社名変更し代表取締役塚田氏が就任、私は営業部長として5年間頑張ってきたが経営者に恵まれず退社し今までの経験を活かして1992年6月に独立をして城山団地交差点近くで美光社として営業を開始。

1997年6月に有限会社美光社として法人設立し1999年11月に自社店舗を購入し下伊敷へ移転、現在に至って22年目の営業に入りました。

地域のための社会貢献活動はもとより、色々な団体活動をしながら取引先から喜んでもらえる会社に成長出来る様、コピーサービスを柱に年々事業内容を拡大しモバイル監視カメラシステムやLED 蛍光灯や水銀灯のLED化、ビジネス電話

ス：藤福システム株式会社内

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目10-32 ロゼ天神6F

TEL 092-713-1122

FAX 092-713-1152

千葉県からは(株)ときわコピー様(代表取締役廣幡隆氏)(注記:この記事の内容は同社の了承を得てホームページから転載しております。)

【会社概要】

社名：株式会社ときわコピー
 ・本社 〒277-0005 千葉県柏市柏6-1-22、TEL04-7163-7360(代表) FAX04-7163-7344
 ・本店 〒103-0025 中央区日本橋茅場町2-7-10、TEL03-6696-173 1FAX03-5643-9229
 ・東京支店 〒130-0004 墨田区本所3-14-9、TEL03-5610-9711FAX 03-6303-7511
 ・千葉支店 〒260-0007 千葉県千葉市中央区祐光2-8-9、TEL043-224-3456FAX043-224-3767
 ・印西支店 〒270-1337 千葉県印西市草深190、TEL0476-47-2567

FAX0476-46-9384

・茨城支店〒302-0015茨城県取手市井野台1-2-4、TEL0297-72-2579FAX0297-73-1623

・千葉支店〒272-0812千葉県市川若宮3-24-9、TEL047-302-2801FAX047-302-2802

・我孫子支店〒270-1154千葉県我孫子市白山1-1-27、TEL04-7184-1525FAX04-7185-1630

・千葉営業所〒277-0013千葉県柏市東台本町4-13、TEL04-7167-6007、FAX04-7167-6060

【セキュリティ方針】

当社にとって情報資産（情報および情報システム等）は、コピー、製本、入出力等の総合コピーサービス及びそれに付帯する当社のビジネス活動において、利益を生み出していくための源泉でありかつ最も重要な資産でもある。また情報セキュリティ事故を未然に防止することは、社会的な責務である。

当社は、情報セキュリティ上の脅威から情報資産を保護するために、情報資産を正確かつ安全に取り扱い、経営戦略に沿った情報セキュリティを実現するとともに、お客様の信頼に応えていくものとする。

1. 当社は、以下のセキュリティ目的を設定し、この目的を達成するための諸施策を確実に実施する。

【セキュリティ目的】

・ お客様との契約及び法的または規制要求事項を尊重し遵守する。

・ 情報セキュリティ事故を未然に防止する。

・ 情報セキュリティ上の脅威から情報資産を保護する。

2. 当社は、情報セキュリティに対する当社の取り組みに関する経営陣の意思を表明し、それに基づく主な行動指針を明確にすることにより、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を適切に構築・運用し、重要な情報資産の機密性、完全性、可用性の確保に努め、その有効性を継続的に確保する。

3. 当社は、ISMSの運営のために情報セキュリティ管理責任者と

情報セキュリティ委員会を設置し、運用するために必要な組織体制を整備する。

4. 当社は取り扱うすべての重要な情報資産のリスクを受容可能な水準に保つため、リスクアセスメントに関する体系的な手順と評価基準を定め、リスクアセスメントに基づく適切なリスク対策を講じる。

5. 当社は、ISMSの維持向上のため全社員に対して定期的に教育を実施し、効果を測定する。

6. 適用範囲は「ISMS適用範囲」において別途定める。

2013年 11月 13日

株式会社ときわコピー

代表取締役 廣幡 隆

（注記：同社は2014.5.9、ISMS登録済となっています。）

来る10月16日には、福岡県福岡市において九州エリア理事長会議を開催する予定ですが、その場には旧九複連に参加して戴いた方々が出席との意向を伺っています。

業界を取り巻く厳しい諸情勢の中、関連する業界人同士が今後の組織の在り方や業界の今後について真剣に討論する場として相応しいものとなることを期待しています。

会議は、前半は九州エリアの理事長各位との懇談の場とし、地域が抱える問題点や今後の複写連組織に貢献をなすための施策などを検討する予定です。

また、後半では九州の各地域からお集まりいただいた方々との合同会議の形式をとり「複写からPOD」へ移行する業態の変化と組織の再編成などについて話し合う予定であります。

メーカー最新情報

賛助会員各社の最新情報
をお知らせします

キヤノンマーケティングジャパンがAZEの全株式を取得

3D医療画像解析技術を生かした医療画像ソリューション事業を展開

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：川崎正己、以下キヤノンMJ）は、このほど株式会社AZE（代表取締役社長：畦元将吾、以下AZE社）の全株式を取得しました。これにより、AZE社の得意領域である3D医療画像解析技術を生かした医療画像ソリューション事業を展開していきます。

キヤノンMJグループは、中長期経営計画の成長戦略として事業の多角化とサービス事業会社化を掲げ、特に医療事業の強化・拡大に注力しています。

キヤノンMJは2011年10月に医療市場で強力な営業基盤と販売網を持つ株式会社エルクコーポレーション（現キヤノンライフケアソリューションズ株式会社）を完全子会社化し、2013年1月に自社開発のPACS（医用画像システム）「Primitus（プリミタス）シリーズ」を市場投入するなど、医療画像ソリューション事業を強化してきました。

このたび、3D医療画像解析技術に強みを持つAZE社をグループに迎え入れ、AZE社の医療画像に特化した技術とキヤノンMJグループの医療ITシステムを融合することで、より付加価値の高い医療ソリューションを創出していきます。

具体的には、医療業界で高い評価を得ており市場競争力の高い3D医療画像解析システムや読影専用ポリウムビューアなどを、AZE社

の販売網に加えて医療事業中核企業のキヤノンライフケアソリューションズ株式会社の広範な営業基盤で販売展開し、ビジネスを拡大させていきます。また、AZE社の圧倒的な差別化技術と開発力を獲得することにより、既存のソリューションに加えクラウド型の医療画像解析サービスを今後展開していく上での大きな推進力となります。さらに、全国の国公立病院49施設をはじめとする1,000施設以上のAZE社の有力顧客基盤に対し、キヤノンMJグループが保有するデジタルラジオグラフィCXDIなどの医療イメージング機器を販売展開することが可能になります。

キヤノンMJグループは2017年に医療事業全体で売上高400億円を達成することを目標に医療事業を強化・拡大させ、医療イメージング分野のリーディングカンパニーを目指していきます。

株式会社AZE社の概要
会社名：株式会社AZE、設立：1999年4月、事業内容：3D医用画像解析システムなどの開発および製造販売、本社所在地：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号、代表取締役社長：野村公義（2014年9月1日付で就任）、資本金：50百万円、株主：キヤノンマーケティングジャパン株式会社100%、従業員数：45名（2014年7月現在）

オンラインフォトブックサービス“PHOTOPRESSO”をリニューアル

ソーシャル化でフォトブックを作る楽しさがひろがる

2014年9月2日
キヤノンマーケティング
ジャパン株式会社



PHOTOPRESSO”の新トップページ



PHOTOPRESSO”のロゴ



印刷・製本されたフォトブック

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（社長：川崎正己、以下キヤノンMJ）は、オンラインフォトブックサービス“PHOTOPRESSO（フォトプレッソ）”を9月2日にリニューアルし、ユーザー同士のコミュニケーションを活性化する機能を強化します。

フォトブックの編集・作成、価格:無料、ギャラリーへの公開、価格:無料、フォトブックの印刷注文、価格1冊あたり1,750円/40ページから（税別）40ページを越えた場合は、ページ数が増えるごとに2ページ単位で52円ずつ追加。最大で204ページまで。送料別。3Dプリント関連事業に参入

～RICOH Rapid Fabで、ものづくりのイノベーションを支援～

2014年9月8日
株式会社リコー

株式会社リコー（社長執行役員：三浦善司）はこの度、3Dプリンターをキーとしたアディティブ・マニュファクチャリング事業（AM事業）に参入します。事業の第一弾として、ものづくりイノベーション拠点「RICOH Rapid Fab（リコーラビッドファブ）」を神奈川県横浜市と厚木市に開設します。

今年度は2つの「RICOH Rapid Fab」の運営を通して、3Dプリンターの仕入れ販売、3Dプリンター出力サービス、リコーの実践事例に基づく

コンサルティング提案を展開し、今後はグローバルに拠点を順次拡張していきます。なお、日本における販売はリコージャパン（株）が行います。

<事業参入の背景>

近年、顧客ニーズの多様化に対応するため、製造業では短期間での製品開発プロセスが求められています。3Dプリンターは、設計データから手軽に試作品を造形し、時間とコストの節約に貢献できるとして、ものづくりの現場において関心が高まっています。リコーグループでは、20年以上にわたり設計業務で3Dプリンターを活用してきた実績に加え、試作や金型加工などの数々の技術を有しています。

こうした実績と技術を融合したAM事業を立ち上げることでリコーは、お客様のものづくりの現場におけるイノベーションを支援いたします。

<「RICOH Rapid Fab」の概要>

「RICOH Rapid Fab」は、企業の設計・製造部門のお客様を中心に、3Dプリンターの活用によるものづくり変革を提案する場です。実際の商品の確認のためのショールームとしてご利用いただけるほか、お客様のデータを用いた3Dプリンター出力サービスにも対応します。さらに、リコーの設計現場における3Dプリンターの活用事例に基づく、コンサルティングもいたします。

RICOH Rapid Fab 新横浜

9月8日開設、所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-3(株)リコー新横浜事業所内

RICOH Rapid Fab 厚木
9月下旬開設予定、所在地：神奈川県厚木市下荻野1005(株)リコー厚木事業所内

<リコーの持つ3Dプリンター関連技術>

3Dプリンターには、インクジェット方式、材料押出堆積方式、粉体積層焼結方式などがありますが、リコーはこれらの方式に必要な要素である、インクジェット技術、材料や粉体の技術を有しております。特に積層ピエゾ技術を用いたインクジェットヘッドは、産業分野向けの外販事業をグローバルで展開しており、サイングラフィックス、三次元造形など紙だけではなく様々なメディアへの印刷応用に幅広くご活用いただいております。

リコーが持つこうした技術を用いて、今後は3Dプリンターの自社製造・販売も視野に、さらなる研究・開発を進めてまいります。

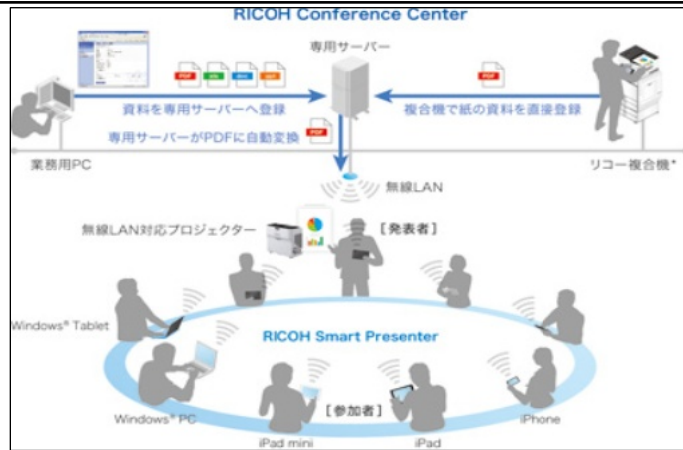
最大350台のタブレット端末が同時接続可能なペーパーレス会議システム

「RICOH Conference Center」が複合機との連携を開始

2014年9月4日
株式会社リコー
株式会社リコー（社長執

行役員：三浦善司）は、最大350台のタブレット端末が同時接続可能なペーパーレス会議システム「RICOH Conference Center（リコーカンファレンスセンター）」の最新バージョンを9月4日（木）から提供開始致します。最新バージョンでは、複合機との連携が可能になり、紙の資料を簡単に「RICOH Conference Center」に登録することが可能です。また、アジェンダ機能が追加され、ペーパーレス会議においても議題に沿った会議運営ができるようになります。「RICOH Conference Center」のクライアントアプリケーションとなる「RICOH Smart Presenter（リコー スマート プレゼンター）」（無償）もバージョンアップされ、「RICOH Conference Center」と連携した会議の際には手書きメモの容量が従来に比べて共有メモは4倍、個人メモは20倍となります。

ビジネスや教育現場においてスマートデバイスの活用が進む中、会議における配付資料の印刷コストの削減を実現します。また、タブレット端末に配信された資料データは会議終了後に消去することも可能なため、ペーパーレス会議をセキュアな環境でご利用いただけます。社内での打合せ、役員会議、セミナーや研修会など幅広い用途で、簡単で便利にご利用頂けるペーパーレス会議システムの提供により、お客様の業務効率向



画像：「RICOH Smart Presenterシステム」の概念図
「RICOH Smart Presenterシステム」の概念図

上に貢献致します。

「RICOH Smart Presenterシステム」の主なバージョンアップのポイント

1. 複合機連携により「紙の資料でもすぐ会議」が可能*

紙の資料を複合機でスキャンすれば、会議資料として「RICOH Conference Center」へ直接登録が可能です。アジェンダ機能と組み合わせれば、さらに使いやすくご利用頂けます。

*MultiLink-Panel搭載モデルのみ対応

2. 会議を議題に沿って進行することができるアジェンダ機能を新たに搭載

今回ご提供を開始する最新バージョンでは、アジェンダ付きの会議が作成できるようになります。アジェンダ機能によって、議題ごとの資料添付や差し替えが可能となり、事務局の負担が軽減しスムーズな会議運営を実現します。

3. 手書きメモ（共有/個人）の容量が増加*

ペーパーレス会議の中で共有される資料に自由にメモを記入できる機能が強化されます。従来のバージョンに比べ容量が増加し、共有メモは4倍、個人メモに関しては20倍となります。

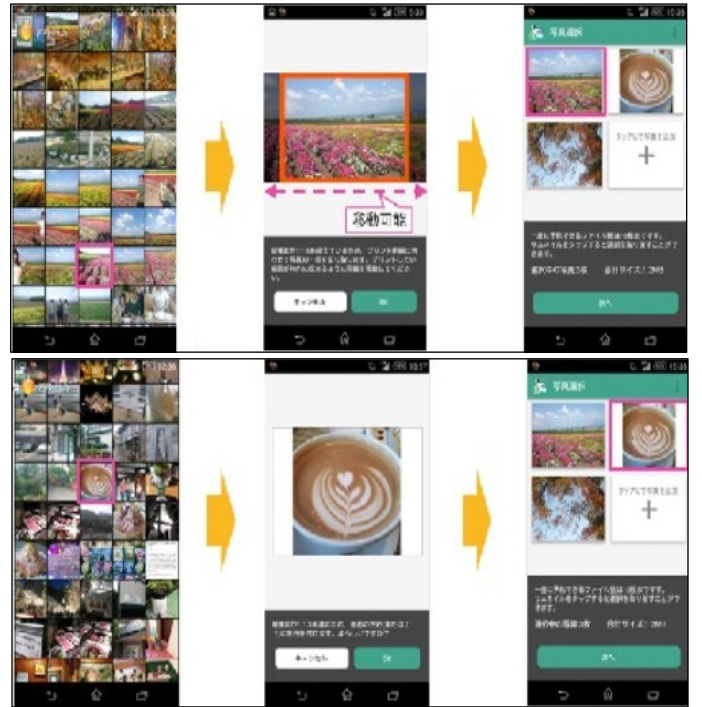
*「RICOH Conference Center」と連携した会議のみ対応

「RICOH Smart Presenterシステム」について

RICOH Smart Presenterシステムは、デバイス(iPad/iPhone/Windows OS搭載のPC)上で資料の共有・閲覧・資料ページの同期・ページ内での拡大・書き込みを可能にすることで、ペーパーレスの会議やプレゼンをスムーズに行えるシステムです。発表者や会議参加者はデバイスに関わらず資料を共有することができ、会議やプレゼンの際に、資料の印刷や配付・回収をする必要はありません。発表者がページを送ると、参加者の手元資料も連動してページが送られるほか、表示資料の拡大縮小も自由に行えます。発表者の資料をリコー製プロジェクターへのワイヤレス投影も可能です。

同システムは、Windows Server 上で動作するRICOH Conference Centerと、iOS上で動作するiPad/iPhone向けアプリケーションRICOH Smart Presenter(無償)から構成されます。10名以下の会議であれば、RICOH Smart Presenterのみでもサーバー不要のペーパーレス会議を手軽にお試しいただけます。

商品名：RICOH Conference Center, タイプ：サーバーシステム10デバイスライセ



ンス付, 標準価格(消費税別)300,000円,最大接続数350(iOS/Webブラウザ)デバイスまで拡張可*

RICOH Smart Presenter、タイプ：iOS用クライアントシステム、標準価格：無償、最大接続数、10(iOS)クライアント(サーバーレス)
*追加分のデバイスライセンス料が必要となります。詳しくは販売担当者にご確認ください。

*Microsoft、Windows、Windows ServerおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

*Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

*iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。

*iOSは、米国およびその他の国における商標またはシスコの登録商標であり、ライセンスのもとに使用されます。

セブン-イレブン店舗でスマートフォンからの写真プリントをさらに簡単・手軽・便利に

「netprint 写真かんたんプリント」アプリの機能を強化

2014年9月4日
富士フイルムグループの

富士ゼロックス株式会社(本社：東京都港区、社長：山本 忠人)は、スマートフォン注1で撮影した写真をインターネット経由で全国のセブン-イレブン店舗のマルチコピー機注2で、簡単・手軽にプリントできるアプリケーション「netprint 写真かんたんプリント」の機能を強化したAndroid OS版を9月4日から無料で提供いたします。

「netprint 写真かんたんプリント」は、スマートフォンからの写真プリントに特化した専用アプリケーションで、セブン-イレブン店舗で利用する際にユーザー登録やログインの必要がなく、すぐにプリントできるのが特長です。2013年11月の提供開始以来、多くのお客様にご利用いただき、高い評価をいただいています。

今回の機能強化では、これまでプリントできなかった写真サイズ(縦横比1:1.3~1:1.5以外の写真サイズ)への対応や、まとめてプリント登録できる最大枚数を5枚から10枚に増やすなど、さらに簡単・手軽・便利を追及しました。

トリミング機能

プリントしたい写真のサイズが縦横比1:1.5を超える場合に、トリミングしてプリント登録することができます。

余白付与機能

プリントしたい写真のサイズが縦横比1:1.3を満たさない場合に、余白を付与してプリント登録することができます。

プリント登録最大枚数を拡大

一度にプリント登録できる最大枚数を5枚から10枚注3へ拡大。数多くの写真プリントが必要なシーンでもより簡単・便利にプリントが可能となりました。

注1：対応OSバージョンAndroid・OS 2.3、4.0~4.4、注2：マルチコピー機、全国のセブン-イレブン店舗(2014年8月末現在17,013店)に設置された富士ゼロックス製フルカラー複合機。カラーコピー、ファクス、デジタルプリント、チケット購入、ネットプリントなど様々なサービスを提供。注3：ファイルの合計最大容量は4MB

アプリケーションの入手方法

サービスを利用するために必要なアプリケーションは、以下GooglePlayにて入手できます。GooglePlayプリント料金、Lサイズ(フォト用紙)1枚30円

注記：Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。注記：Androidは、Google Inc.の商標です。注記：その他プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。

フランスMGI社と国内総代理店契約を締結

~日本国内でのMGI社製品の販売活動・技術サポートを開始~

2014年8月7日
コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
コニカミノルタビジネス



ソリューションズ株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：和田 幹二)以下 当社は、MGI Digital Graphic Technology(本社：フランス、以下MGI社)と日本国内における総代理店契約を締結し、MGI社が提供する製品の販売及び技術サポートを2014年10月1日より商業印刷市場に向けて順次開始いたします。

当社は、プロダクションプリント事業を成長領域と定め、事業規模と業容の拡大を図ってまいりました。プロダクションプリント分野向けに提供している印刷資機材や各種ソリューションを通じて、商業印刷市場でのカラーライトプロダクション領域においてはトップ企業として事業展開しております。

このたび、当社がMGI社の日本国内における総代理店となり、MGI社が欧米を中心に提供している特徴的なデジタル出力機器群を、国内で展開してまいります。これを機に当社は、新たにパッケージ印刷市場やプラスチック印刷市場へと、積極的に事業領域を拡大していきたいと考えております。

今後も当社は、商業印刷市場のデジタル化の拡大・活用をサポートすることに取り組んでまいります。

Edmond Abergel 様(MGI社President)のコメント：

「我々は日本のグラフィックアーツ市場において最も適切なタイミングで理想的なパートナーを得ることができたことを大変うれしく思います。日本における我々の販売窓口としてコニカミノルタビジネスソリューションズと代理店契約できたことは光栄なことであり、この戦略的な関係は日本の印刷業界における両社のプレゼンスを一層拡大していくことと確信しております。」

MGI社概要：社名：MGI Digital Graphic Technology、本社所在地：Ivry FRANCE(イブリー フランス)、設立：1982年、従業員数：150名、事業内容：デジタルプリンター製造販売、業績(FY2013)、売上高：3,306万ユーロ、営業利益：715万ユーロ、主な取り扱い製品と特長：B2インクジェットスポットUVコーター「JET Varnish 3D」(1)

JET Varnish 3Dは、印刷物に均一なUVスポットニスコーティングと厚盛ニスコー

ティング効果を与える次世代のデジタルスポットUVコーターです。JET Varnish 3Dは、デジタル印刷機やオフセット印刷機で印刷されたB2サイズまでの印刷物に対応し、従来のUVスポットニスコーティングや厚盛ニスコーティングを1枚の印刷物から処理できる最適なソリューションで、印刷物に真の付加価値を提供します。

「新しいお客様の獲得と収益性の高い市場への拡大」- JET Varnish 3Dによる魅力的な視覚効果と触覚効果で印刷物の情報価値を飛躍的に向上させることが可能となります。

JET Varnish 3D箔押しオプション「i FOIL」(1)

JET Varnish 3Dと連結することにより、デジタルエンボス加工とホットフォイルの箔押し加工を実現します。

i FOILはフィルム、型といった前工程を不要にし、たった1枚の印刷物から1,000枚単位の大量の印刷物にホットフォイルの箔押しやエンボス加工処理ができ、使いやすさと高い収益性の両方を可能にします。

JET Varnish 3Dとi FOILによるインパクトのある触覚効果と視覚効果を最大限に活用することで、これまでにない新しい印刷表現を提供することができます

パーソナルデジタル印刷機「Meteor DP8700 XL+」(2)

Meteor DP8700 XL+は、紙・プラスチック・合成素材・封筒など多彩な素材に印刷可能な電子写真方式のデジタル印刷機です。

また、高い表裏見当精度を有し、デジタル印刷のスペックを引き上げ幅広い印刷ミッショへの対応を可能とします。Meteor DP8700 XL+

は、これまでのデジタル印刷機が越えられなかった

「オフセット領域の壁」を取り払いオフセットビジネスと相互に資する形での共生を実現いたします。

1, 2014年10月からの発売開始を予

社長の歳時記

定しております。 2, 2015年1月からの販売開始を予定しております。

小さな会社の生きる道 ~ 皆さんと一緒に考える包丁製造の「タダフサ」再生のケース

この記事はNETRICOHに掲載されたものを再掲しています。

更新日：2014年9月1日

小さな会社の生きる道 ~ 皆さんと一緒に考える包丁製造の「タダフサ」再生のケース

不振に苦しむ小さな会社が、再生を図る。テレビなどでも、日本の「ものづくり」をささえる小さな会社が世界に通じる自社ブランドを立ち上げ、日本だけでなく、世界に勝負に出る。そんな『下町ボブスレー』や『世界シェアNo.1のゆるまないなット』に代表されるようなストーリーが紹介され私たちに感動や勇気を与えてくれる。しかし一方で「同じ」小さな会社でありながら、こうした姿がなかなか自社に当てはまらない、そんな感覚をお持ちの方も多いはず。どこも真似ができない凄い技術を持っているわけでもなく、飛びぬけた企画力も地の利も、人脈も、当然資金もない。そんなわが社が目指せるものとは。そんな思考の壁で立ち止まってしまふ方も多いかもしれない。

1. 「私たちにも実現可能な」再生の姿

「私たちにも実現可能な」

再生の姿

本当に私たちが欲しいのは、世界一の技術や企画力がなくとも小さな会社が再生できる。そんな「実現可能な」方法である。例えば手績み手織りの麻織物の老舗『中川政七商店』の十三代目でありながら、業界特化型（日本の伝統工芸）の経営コンサルタントも行う中川淳氏による著書『小さな会社の生きる道』には、いくつもの小さな会社の、決して珍しくはない、「私たちにも実現可能な」再生の姿が紹介されている。

その企業の一つ、株式会社タダフサは新潟県三条市にある包丁を製造する会社。

中川淳氏のコンサルタントの方法は、まず決算書に目を通し、次に商品の売上げの傾向を分析し、そこに的確に手を打っていくという、いたってオーソドックスといえる方法。しかし、それはブランドやヒット商品、あるいは「凄い」企画に頼った方法ではなく、逆に多くの会社が実践可能な方法でもある。皆さんもぜひ、現状分析を目にした後、解決案を考えてみて欲しい。

中川氏の目にした「タダフサ」の現状はこうだった。

決算書でわかったこと

安価な中国製品に押され、売上げは徐々に下降済み。

直近の売上げは1億2,000万円。ピーク時は1億8,000万円あった。

固定負債7,000万円。長期借入金の割合が多い。

商品原価の計算式は、「原材料費×3=下代（卸値）」しかし計算してみると、これでは利益が出ない。この計算で赤字になっていなかったのは、原材料の在庫があったから。在庫を使ってしまった後は利益が出な

くなる。

売上げの分析で分かったこと

売上げは完成品（包丁）8割とそれ以外（研ぎ直し、半加工品）2割。

完成品は自社製品とOEMが半々。

流通は問屋がほとんど。

家庭用6割、プロ用4割。

在庫が多い（問屋のニーズに比べていったらどんどん増えてしまった）。

製品の基本情報としてどんなに切れる包丁でも研がないとどんどん切れなくなる。

昨今、鋼の包丁は錆びるため敬遠されつつあり、ステンレスが主流になりつつある。

包丁が買われるのは「百貨店」「ホームセンター」「金物屋」「インテリアショップ」。

買われるタイミングは「初めて買う」「料理が上手くなった時」「壊れた時」。

実績から予測すると、次年度は赤字。赤字にしないためには売上げ改善するか、経費削減が必要。

2. 打つべき手とは？

打つべき手とは？

さて、この状況で皆さんならどんな手を打つだろう。

よく企業再生のドキュメンタリードラマなどでは、ここで社員が集まり、頭を捻り、起死回生のヒット商品を送り出し、見事業績回復。そんな内容を目にすることも多い。しかしそんなことはめったに起こらない。起こらないことが起こったからドラマになるのだ。そもそも会社の建て直しに、そんな絵空事を期待してはいけない。

確実に手がつけられ、確実に効果が上がるのは、経費と無駄の削減ということになる。その大前提のもと、

次のことが行われた。

商品の見直し

商品ごとの売上げをA～Dの4段階でチェック。（多すぎる）343品目のうち、Dランクの売上げの悪い8割を整理。その上で、消費者にとって分かりやすいラインナップとした。具体的には（製品の基本情報にある「買われるタイミング」に合わせて）「初めて買う＝初心者用」と「ステップアップ用」のグループに選別。

なんと6本に絞られる！

ここで、ラインナップに「パン切り」がないことが発覚。さらに波型のものでなく、むしろ波型ではないほうが、パンは良く切れることも（会社の包丁を使う社員の日常生活から）判明。初心者向けラインナップに加える。

素材は人気のあるステンレス・SLD（特殊合金）とする。ただし、持ち手は木にこだわることでブランド化。

ブランド作り

他社ブランドとの比較の中で「タダフサ」にしかないポジションを決める。例えば（〇〇包丁）と検索されると、「タダフサ」が表示される状態も作るのもその一つ。

「鍛冶屋」「工房」という大きすぎないイメージを設定。

「研ぎ直し」しながらずっと使う。「工房」発のこだわりの製品であることを謳う。「研ぎ直し」は工房とお客様のコミュニケーションである。

ただし職人が使う和包丁でなく、洋包丁でもない。その中間。

パン切り包丁の切れ味にもとことんこだわる これが後に（パン切り包丁）と



検索すると、「タダフサ」が表示される現象を起こし、ブランドのイメージ作りに貢献する。

その後「タダフサ」では、切れ味を体験していただくセミナーや実演会、特長、ラインアップを分かりやすく整理した広報資料を用意し、有名店舗へのアプローチを行う。また有名なパン屋さんへ目玉商品であるパン切り包丁の提供などを行い、売り上げは回復に向かっている。

会長の独り言

日本複写産業協同組合連合会東海大会で全国の皆様と再会を果たせることを切望しておりますが、今回の大会が開催される名古屋市はウィキペディアの記述によりますと「横浜市・大阪市に次ぐ全国第3位の人口を有し人口密度は全国の市で69位（政令指定都市中で4位）、東京と京都の間に位置することから、中京とも呼ばれ、三大都市圏の一つである中京圏の中核都市となっている。また、政令指定都市に指定されている。中部地方の政治・経済・文化の中核である。

名駅と栄が、広域集客可能な繁華街となっており、市の中心部となる栄と名駅一帯は地下街が発達している。それに伴い、地下鉄網も充実している。なお、地元住民は名古屋駅の事を名駅（めいえき）と呼び、これは名古屋駅周辺の行政地名（中村区・西区名駅一

五丁目、中村区名駅南一～五丁目）にもなっている。

市章は、現在の名古屋市を拠点に尾張を統治した親藩、徳川御三家筆頭格の尾張徳川家の合印に由来する「八」である。

歴史上の人物では、源頼朝（鎌倉幕府初代征夷大将軍）織田信長、豊臣秀吉、柴田勝家、丹羽長秀、前田利家、加藤清正、佐久間信盛、佐久間盛政、佐々成政、前田利益（各戦国武将）を輩出、財界人も多く豊田喜一郎（トヨタ自動車創業者）、豊田章男（トヨタ自動車社長）、盛田昭夫（ソニー創業者、元ソニー会長・名誉大英帝国勲章受勲）伊藤蘭丸祐道（織田信長の家臣。いとう呉服店、現・松坂屋創業者）、竹中藤兵衛正高（織田信長の家臣。宮大工、竹中工務店創業者）、安井正義（ブラザー工業創業者）、谷田利景（ポッカコーポレーション創業者）、小林由三郎（小林瓦斯電気器具製作所、現・パロマ創業者）、津田弘（ヒマラヤ製菓創業者）、竹田和平（竹田製菓創業者）、西川俊男（ユニグループ創業者）、小林忠兵衛（小林製菓創業者）、牧誠（メルコ：現パッファロー創業者）、江口克彦（みんなの党最高顧問・元PHP総合研究所社長）、家本賢太郎（クララオンライン社長）も出身者です。」

市内の観光名跡も豊富で、名古屋城や徳川美術館、熱田神宮などに代表される「歴史・武家文化」、ものづくりの現場を見学できる「産業観光」、ショッピングやグルメ、動物園や水族館など「都市のアミューズメント」が楽しめる名古屋。名古屋での観光が初めての方はまず「観光ルートバスメーグル」を利用してみ

ましよう。名古屋駅から出発して、名古屋城や徳川美術館、テレビ塔など中心部の観光スポットをめぐることができます。（月曜日運休）市内を走る地下鉄も便利。地下鉄市バスの日券を利用すればお得に市内を回れます。

さあ、名古屋の街を歩いてみてください。新しい発見が次々と見つかります。（注記：名古屋市HPより転載）

近県では三重県伊勢神宮が昨年式年遷宮があり、観光スポットです。伊勢神宮（外宮）：衣食住、産業を守護する豊受大御神が祭神。高倉山麓の広大な神苑に鎮座しています。せんぐう館：伊勢神宮外宮（げくう）の勾玉（まがたま）池のほとりにあり、2013年の第62回式年遷宮を記念して建設されました。おかげ横丁：伊勢神宮内宮の門前町の中程に、伊勢路の代表的な建築物が移築・再現されています。この地方の魅力が凝縮されているので、三重の老舗の味、名産、歴史、風習、人情まで、一度に体感できる。伊勢神宮（内宮）：皇室の祖先神で日本人の総氏神である、天照大御神（あまてらすおおみかみ）を祭神とし、神体は三種の神器の一つ八咫鏡。志摩観光ホテル：2008年10月オープン。リアス式海岸の美しい景観を望む地に自然美豊かな「英虞湾＝ベイ」をパノラマサイズで眺望できます。ミキモト真珠島：鳥羽湾に浮かぶ緑豊かなミキモト真珠島は、明治26年（1893）、御木本幸吉が世界で初めて真珠の養殖に成功した島です。和田金：松阪牛の顔ともいえる有名店で、明治初期創業の松阪牛料理の老舗。広大な自家牧場を

持ち、丹念に育てた極上の松阪牛が味わえます。なかでも和田金の看板料理といえば「すき焼」。松阪商人の館：江戸で紙や木綿を手びろく商いしていた豪商、小津清左衛門の邸宅。松坂城跡（松阪公園）1588年に蒲生氏郷によって築城されました。建造物はなく、豪荘な石垣が残るのみですが本居宣長記念館や、歴史民俗資料館、武家長屋の御城番屋敷があります。御城番屋敷：楨垣と石畳をはさんで静かに息づく歴史空間、ここは江戸末期に紀州藩士が松坂城警護のため移り住んだ武家屋敷です。

翌日以降の観光も含め各地域単位でオプションをお考えの上、東海大会に御参加下さい。

所属員の動向

平成26年9月10日付で近畿複写産業協同組合（名楠本雅一理事長から所属組合員代表者の変更届がありましたのでお知らせ致します。

代表者変更報告

(1)変更年月日：平成26年9月1日、(2)会社名：株式会社ダイセイ、(3)代表者名：寺井崇氏(4)所在地：〒531-0071大阪市北区中津3-7-3ビルコ601号(5)TEL・FAX：TEL:06-6372-2530 FAX:06-6372-2561(5)備考：杉本二郎氏は退任致しました。

複写連行事予定

(異動は複写連事務局まで)

平成26年10月16日(木)
複写連九州エリア理事長会議、西日本イメージ情報有志意見交換会、於福岡市
平成26年10月17日(金)
複写401Kボード会議、於熊本市

参加申込書

〈申し込み用FAX番号〉 **052-961-0626**

●参加をご希望される場合は、下記申込書へ必要事項をご記入のうえ、
9月末日までに 上記FAX番号へ送信 いただきますようお願いいたします。

組合名			
会社名			
会社電話番号		— —	
会社FAX番号		— —	
参加者	代表者様	氏名	代表者様 登録料 25,000円
	同僚者・ 同行社員様	氏名	合計人数 名 × 登録料 おのり様 15,000円 合計登録料 円
		氏名	
		氏名	
		氏名	
		氏名	
代表者様 メールアドレス	◎		

※振込手数料はご負担くださいませ。

〈切り取って上部をFAX送信〉

参加費用のお支払い方法

●上記の参加者分の合計登録料金を、下記振込先へお支払いください。

銀行名:	名古屋銀行
支店名:	上前津支店 (店番: 110)
預金種目:	普通
口座番号:	3812066
口座名:	東海複写産業協同組合 代表理事 田本芳樹 (トウカイフツシャサンギョウキョウドクミアイダイヒョウジタモトヨシキ)

※お支払いは、10月10日(金)までにお願致します。

日本複写産業協同組合連合会

第26回 東海大会

『私たちのリデザイン』



と き 2014年11月7日(金)
と ころ 名古屋国際ホテル

主催/日本複写産業協同組合連合会 ■ ホスト/東海複写産業協同組合

4種制作色分け ■ 日本複写産業協同組合連合会 会員の皆様 ■ 東海複写産業協同組合 会員の皆様
■ 日本複写産業協同組合連合会 賛助会員の皆様 ■ ご同業社の皆様

日本複写産業協同組合連合会 会員の皆様へ

日本複写産業協同組合連合会東海大会へのおまねき

今回、第26回日本複写産業協同組合連合会全国大会を東海複写産業協同組合がホストとして開催し、全国の皆様を名古屋でお迎えする事となりました。
2年前の東京大会から、日本複写産業協同組合連合会を取り巻く状況が大きく変わり、それに合わせて複写連の改革が始まっています。そして私たち複写業も、変らなければ周囲に取り残され消滅しかねない時代にどんな大会を開催するのか検討しましたが、難しいことは考えず、気軽に参加してもらえ大会を開催し、より多くの皆様がこの大会に集う事が大切であると結論しました。
日本のど真ん中の名古屋(理由付けは知らないですが毎年「っぽんど真ん中祭り」が開かれていますので勝手に真ん中だと思っています。)で開催される東海大会でお会いできることを、心より願っていて、あいさつとさせていただきます。

平成26年9月

第26回 日本複写産業協同組合連合会東海大会
実行委員長 田本芳樹

当日のタイムスケジュール

14:00	受付開始
14:30	東海大会開会
15:00	各地区現況報告
16:15	閉会
休憩15分	
16:30~17:30	記念講演
休憩15分	
17:45~19:45	懇親会

記念講演 演題「事業リデザインの考え方・すめ方」

講師

佐々木 史光氏



1954年、名古屋市生まれ。早稲田大学法学部卒業。10年、河合塾を経て、2005年にキャリアデザイン総合研究所を設立して代表に就任。中小企業向けに健康コンサルティング「キャリアコンサルティング」を通じて、企業・個人の経営刷新・業績向上などのコンサルティングと、大学・企業・自治体などにおけるセミナー講師の企業・積極的キャリアコンサルティング等を業務の中心としている。

人と組織の「夢の実現」をお手伝いすることを活動理念として掲げ、「基本の徹底」と「変化への対応」を重視。それを実現していくための主役である、「一人ひとりの人」が、人生の主人公として自分自身の夢・目的を貫き、その実現に向けての志願を行っている。
今回は、この「夢の実現、変化への対応」の観点を中心に、業界を「リデザイン」するというのはどうなのか、また、どのように「リデザイン」していくべきなのか、その手法についてご講演いただきます。

大会概要

と き **2014年11月7日(金)** (受付:14:00~)

〈参加費用〉 登録料(大会・懇親会) おひとり様

代表者様 **25,000円** 同僚者・同行社員様 **15,000円**

※参加費用(登録料)のお支払い方法につきましては、裏面をご確認ください。

と ころ **名古屋国際ホテル** 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目23-3
二階 老松の間 TEL:052-961-3111 FAX:052-962-5937

〈会場までのアクセス〉

名古屋国際ホテル ■ 中部国際空港より車で約50分 ■ 名古屋駅より車で約5分 ■ 地下鉄山崎線山崎駅北口より徒歩約2分

中部国際空港よりお越しの場合

名鉄東濃「空港線」中部国際空港 → 金山駅 → (地下鉄名港線) → 栄駅下車

地下鉄でお越しの場合

●名古屋駅より 山崎線が丘方面に下車しただけ、2つ目の「栄」で下車。乗車時間は約5分です。

●金山駅より 名港線が丘方面に下車しただけ、4つ目の「栄」で下車。乗車時間は約7分です。

〔東線〕栄駅北口から6番出口を出て、徒歩を約15分(徒歩)2分です。〔南線〕栄駅北口から6番出口を出て、徒歩を約15分(徒歩)2分です。

お車でお越しの場合

●東山方面 名古屋国際ホテルに → 名古屋高速道路心願橋 → 「東山IC」を出て「東山IC北」を

右折し、直進約2分です。

●栄方面 名古屋国際ホテルに → 名古屋高速道路心願橋 → 「東山IC」を出て「東山IC北」を

右折し、直進約2分です。

〈地下鉄山崎線ご利用の利便性〉
「東山IC」北方面に下車し、東線 → 赤土山崎線山崎駅北口から徒歩約2分
お申し込みの際は、必ず
052-961-3111へお申し込みください。